令和3年3月15日~3月26日の期間で、全815市区を対象に新型コロナウイルスワクチン接種体制の準備状況について、アンケート調査を実施。

回答市区:640市区(回答率:79%)

 , –	LX		_
,,,	\sim 4		_
	_	n = 1	$\boldsymbol{\pi}$

①接種方式

・医療機関の個別接種と集団接種の両方で実施 84%

・医療機関のみで接種を実施<u>6%</u>

·集団接種のみで実施 <u>6%</u>

②医師会との協力や具体的な調整状況

・協力が得られているが、具体的な体制構築については調整中

61%

・協力が得られており、具体的な体制構築についても概ね調整済

・協力のあり方等について調整中

36%

2%

令和3年4月5日 全国市長会参考資料

新型コロナウイルスワクチン接種の準備状況

アンケート結り

③医療機関との調整において、	支障となっている問題・課題点	等(※複数回答可)
	スキし ひょくく めには かんが	

・V-SYS、VRSへの入力事務に関する調整 <u>70%</u>

・集団接種を実施する際の医師・看護師等のスケジュールの確保・契約

・医療機関の協力を得るために必要な対価等(協力金)の報酬

・診療所・クリニック等への個別接種実施に関する協力・連携依頼

<u>32%</u>

<u>31%</u>

<u>55%</u>

<u>④新型コロナワクチン接種計画の策定状況</u>

·作成中 <u>56%</u>

·作成の見込みが立っている <u>27%</u>

·作成済 <u>17%</u>

⑤高齢者への優先接種が約1ヶ月後ろ倒しになったことで生じた課題(※複数回答可)

・ワクチン供給量が見込めず接種計画等の策定に影響が生じている

・事務の委託業者等との契約で再調整が必要になった

・医療機関等(医師・看護師等の確保)との再調整が必要になった

<u>46%</u>

86%

36%

2

アンケート結果 市区の主な意見から表れている現状の課題

【ワクチンの供給について】

ワクチンの供給量・供給時期が明確に示されておらず、接種開始日や接種計画の策定 等の準備に影響が生じている。

【医療機関との調整について】

包括的な医師会との協力は得られているものの、ワクチンの供給時期等が不透明なため、地域の医療従事者の具体的な配置等の調整が難航している。

【医療従事者と高齢者の優先接種について】

医療従事者の優先接種が終わらないまま、高齢者の優先接種を並行して実施すること に対する不安の声がある。

【医師・看護師等の確保について】

離島やへき地等においては、医師・看護師等の確保に苦慮しており、広域的な医師・看 護師等の派遣体制の構築が必要である。

【V-SYS及びVRSについて】

システムの準備はもとより実際の運用、特に医療機関の入力等について協力と理解が必要である。

アンケート結果 市区の主な意見から表れている現状の課題

【情報提供の在り方等について】

- ・情報が小出しに提供される度に、住民からの問い合わせにも対応することになり、円 滑な接種体制の確保に支障が生じている。
- ・取扱いに係る情報の変更(※)については、その都度、急な調整等を余儀なくされ、現場は混乱している。変更箇所がすぐわかるようにし、可能な限り適切な時機かつまとまった形式で、実務に十分配慮した情報提供をすべきである。
- ・今後、具体的な接種が進むに当たって、接種に係る進捗状況は地域によって異なることから、住民等に不安を招くような形でデータ等は示すべきでない。

※例: ファイザー社ワクチン1バイアルの接種回数

ワクチン接種券(高齢者分)の発送時期

ファイザー社ワクチンの保存方法・配送方法 等

医師不足地域における医師・看護師等の広域的な派遣体制等の支援策について

○「新型コロナワクチン接種体制に関する提言」(全国市長会)

令和3年1月27日 河野・国務大臣に提出。

①ワクチン接種に要する経費に対する財政措置、②都市自治体と医療機関等の円滑な連携に必要な支援策、③ワクチンの接種体制の確保に必要な情報提供、④国民への周知、 ⑤広域的な体制整備への支援等。

(提言内容の一部抜粋)

5. 広域的な体制整備への支援について

基幹病院となる医療機関がない、あるいは医師等が不足していることにより、ワクチン接種の実施が困難な地域があることから、広域的な医療従事者の派遣体制を整備するなど、必要な支援策を講じること。